

その他の野菜の需給・価格動向について

(きゅうり、さといも、トマト、なす、ねぎ、ばれいしょ、ピーマン、ほうれんそう)

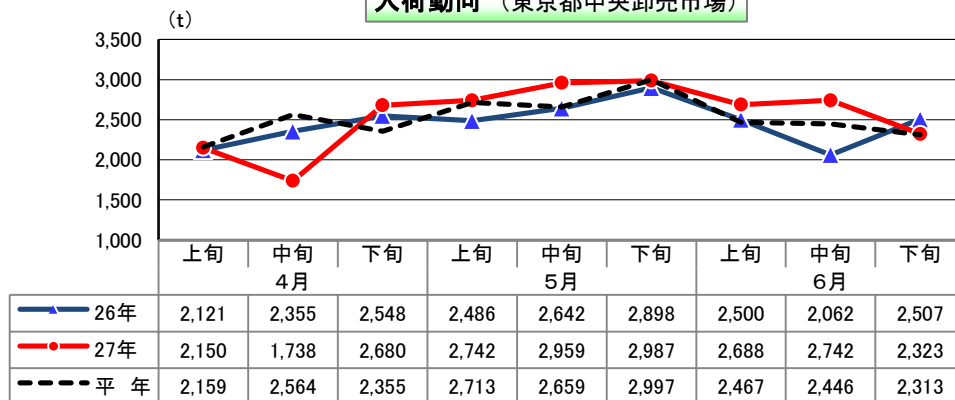
資料：東京青果物情報センター「東京都中央卸売市場における青果物の産地別入荷数量と価格」

注：平年とは、過去5か年（平成22～26年）の旬別価格の平均値である

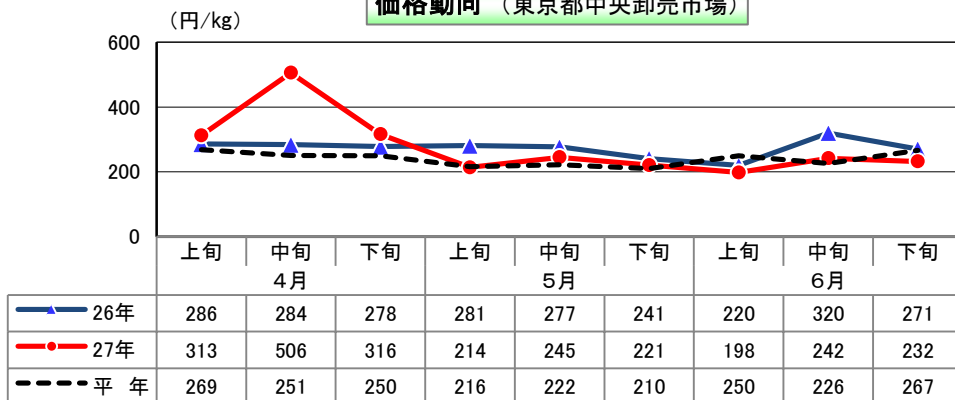
【きゅうり】（主な産地：群馬、埼玉、千葉）

- 入荷量は、4月中旬に千葉県産において、低温や日照不足により一時前年を下回ったが、期間を通して、群馬県産や埼玉県産において、生育が順調であったことに加え、降雪によるハウスの倒壊により入荷量が減少した前年を上回って推移した。
- 価格は、4月中旬に入荷量の減少に伴い急騰し4月下旬から5月上旬にかけて値を下げるなど、前年を下回って推移した。6月は降雪によるハウス倒壊などで高かった前年を下回った。

入荷動向（東京都中央卸売市場）



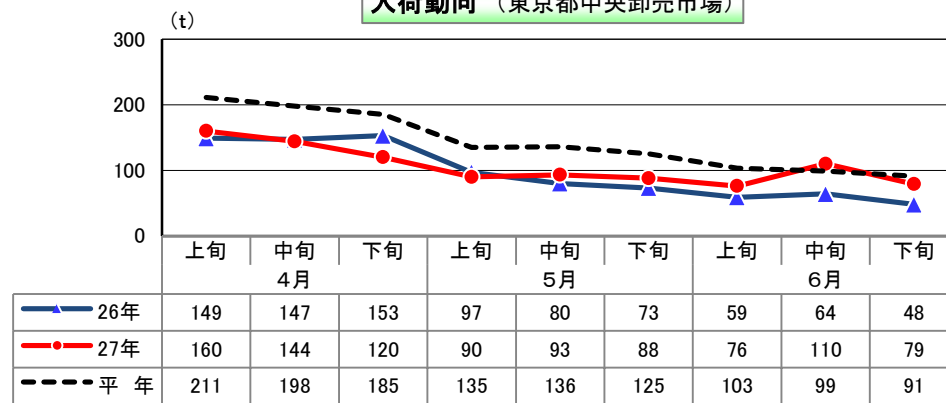
価格動向（東京都中央卸売市場）



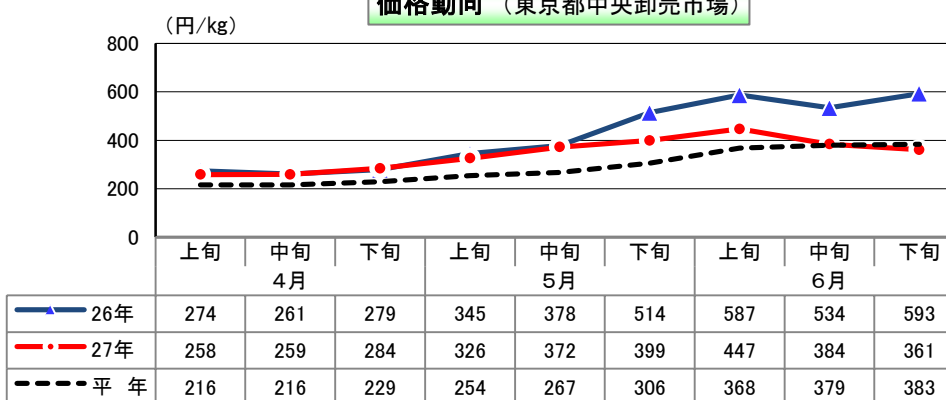
【さといも】（主な産地：千葉、埼玉、鹿児島）

- 入荷量は、4月から5月は貯蔵ものの入荷となる。千葉県産は、生育順調で少なかった前年を上回ったが、埼玉県産は、前年を下回った。6月は宮崎県産において、日照不足などの影響で生育の遅れがあったが、鹿児島県の離島から出荷が少なかった前年を上回ったことから、全期間を通して6月中旬以外は平年を下回った。
- 価格は、入荷量の減少などもあり、6月上旬にかけて上げ基調で、その後5月中旬までは前年並みで推移したが、それ以降、高かった前年を下回った。6月中旬以降は平年並まで値を下げた。

入荷動向（東京都中央卸売市場）



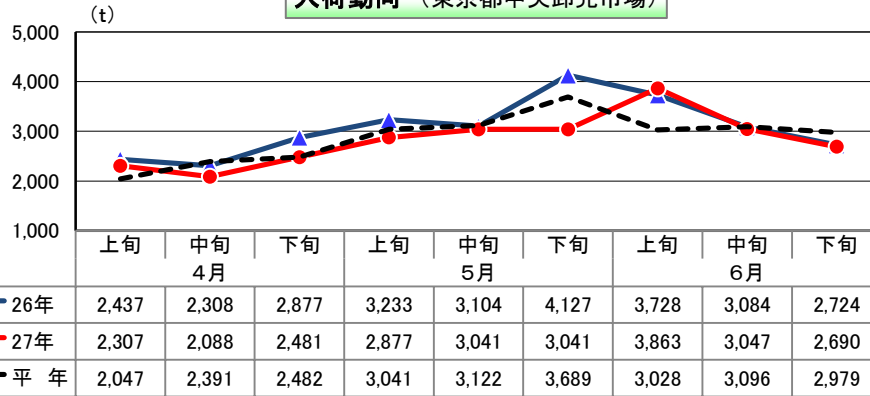
価格動向（東京都中央卸売市場）



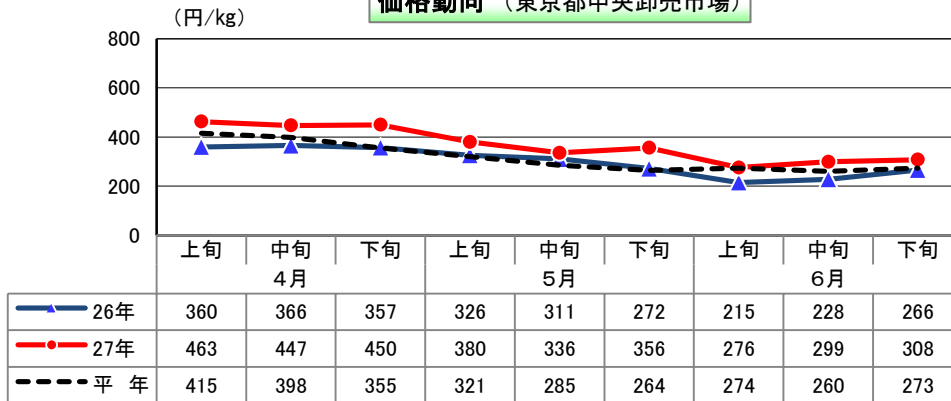
【トマト】（主な産地：熊本、愛知、栃木）

- 入荷量は、4月から5月にかけて熊本県産や栃木県産などにおいて、日照不足や低温などの影響による着色に遅れがあったことから前年を下回った。6月に入り、熊本県産は順調であったが栃木県産において、日照不足の影響で小玉傾向となったことから、ほぼ前年並で推移した。
- 価格は、入荷量が月を追うごとに増加したことに伴い、4月に高値であった価格が緩やかに下げ基調となったものの、安値であった前年を上回って推移した。

入荷動向（東京都中央卸売市場）



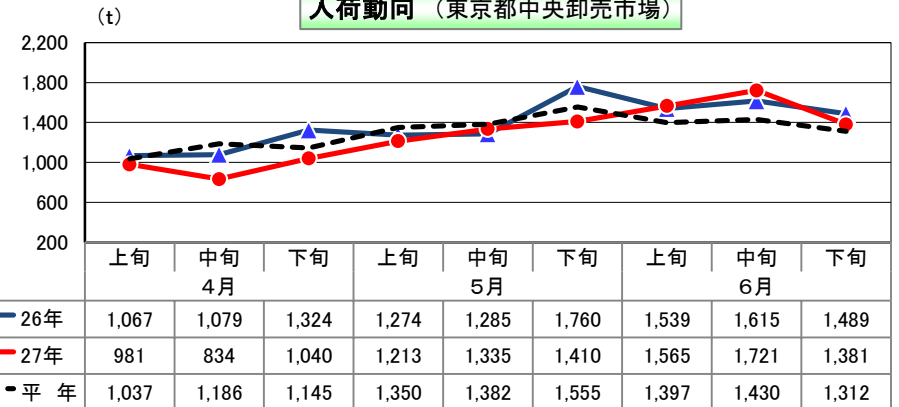
価格動向（東京都中央卸売市場）



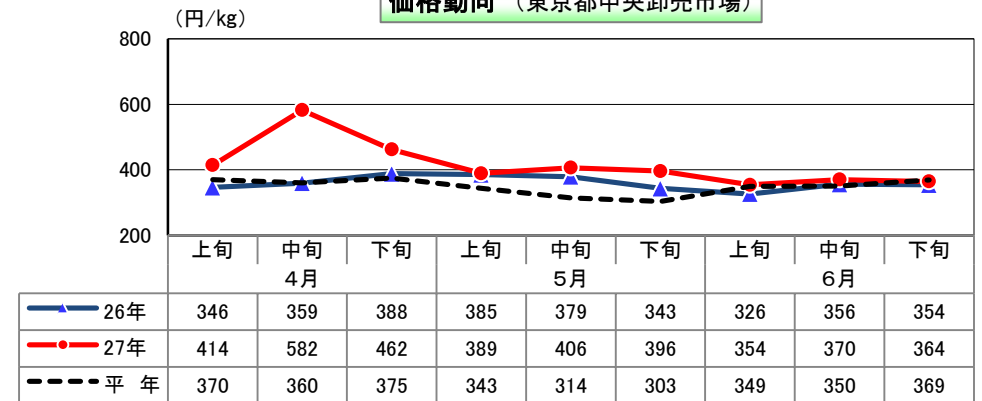
【なす】（主な産地：群馬、高知、福岡）

- 入荷量は、4月から5月は、高知県産や福岡県産において、低温や日照不足等の影響による病害の発生などから前年を下回った。6月は高知県産や福岡県産において、病害の影響があったものの関東産の入荷が順調であったことから前年を上回った。
- 価格は、4月は前年を上回り、特に中旬に入荷量が大きく減少したことにより一時的に高騰した。5月以降は、緩やかな下げ基調で推移したが、前年を上回って推移した。

入荷動向（東京都中央卸売市場）



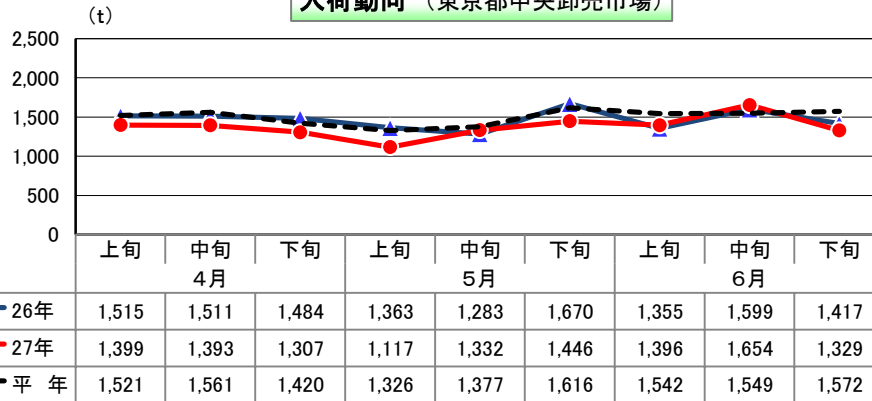
価格動向（東京都中央卸売市場）



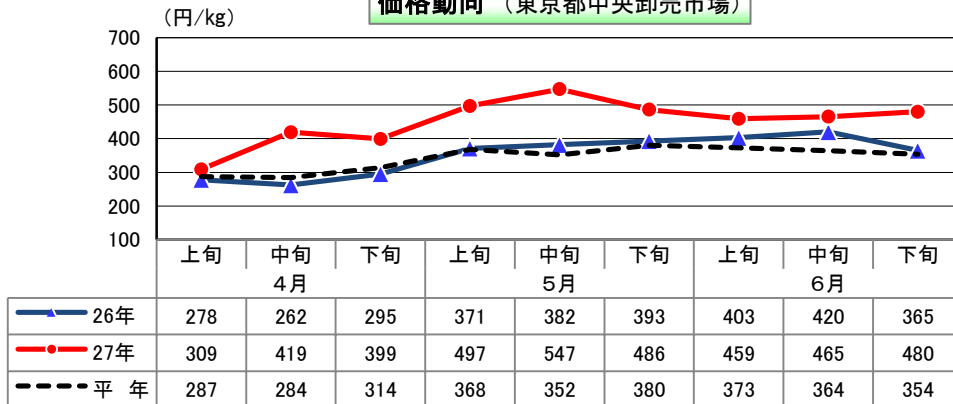
【ねぎ】（主な産地：茨城、千葉、埼玉）

- 入荷量は、4月は千葉県産において、降雨による収穫遅れや、埼玉県産において病害の発生などから前年を下回った。5月は茨城県産において、生育が順調で旬を追うごとに増加したが前年を下回った。6月は千葉県産において干ばつの影響による生育遅れがあったものの、茨城県産において生育が順調であったことから前年並みとなった。
- 価格は、4月から5月の中旬にかけて上げ基調で推移し、6月上旬にかけて値を下げ、その後は、大きな変動はなかったものの、全期間を通して前年を上回って推移した。

入荷動向（東京都中央卸売市場）



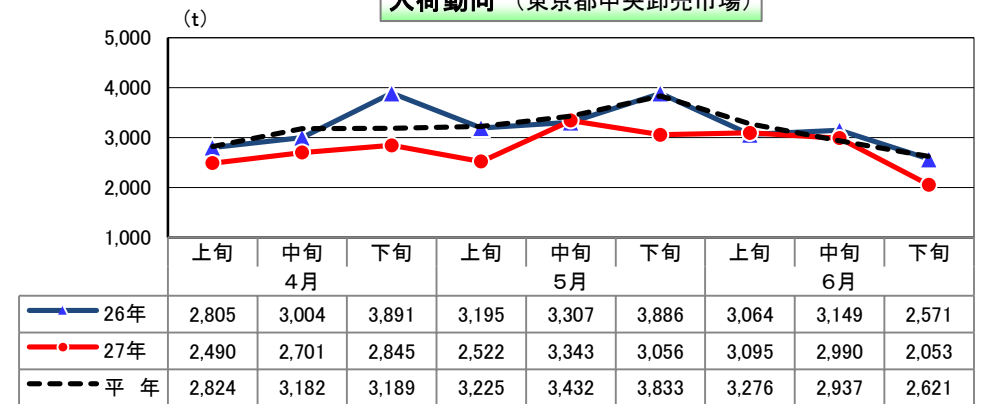
価格動向（東京都中央卸売市場）



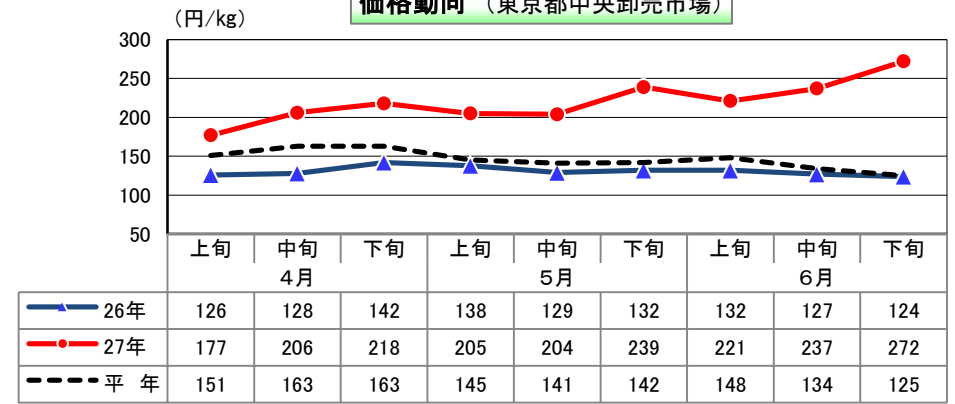
【ばれいしょ】（主な産地：北海道、長崎、鹿児島）

- 入荷量は、4月から5月は、北海道産が終盤を迎え入荷量が減少していく中、鹿児島県産において、干ばつの影響による小玉傾向や、降雨による収穫遅れなどから前年を下回った。6月は長崎県産が日照不足による小玉傾向や、静岡県産において、天候不順による病害の発生などから前年を下回った。
- 価格は、入荷量が前年を下回って推移したこともあり、月を追うごとに上昇し、全期間を通して安値であった前年を上回って推移した。

入荷動向（東京都中央卸売市場）



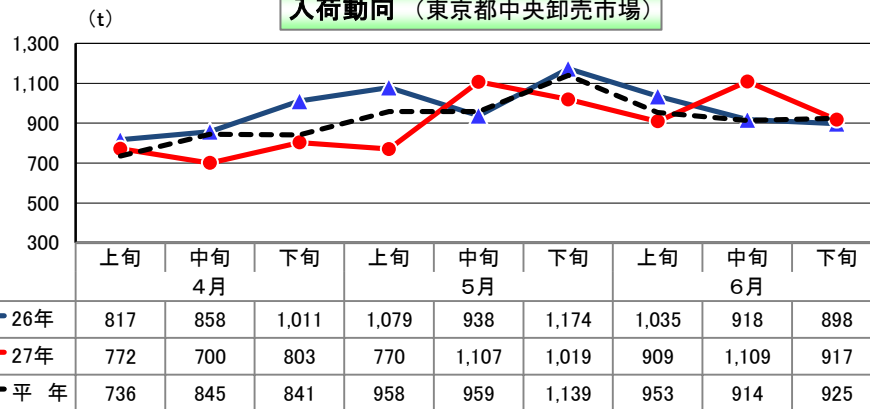
価格動向（東京都中央卸売市場）



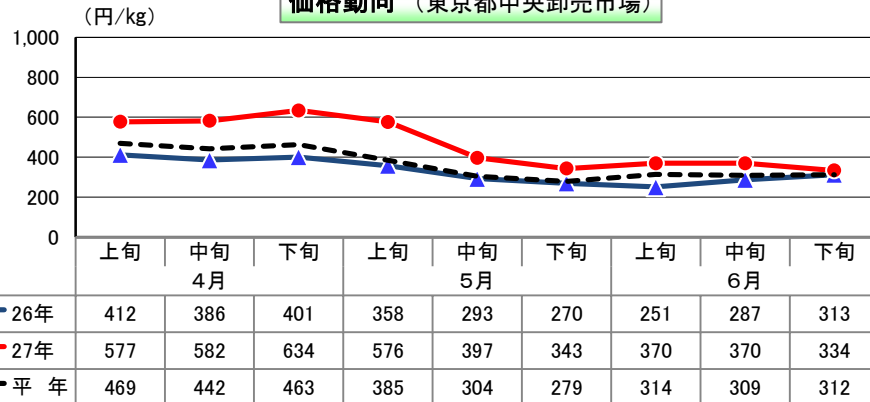
【ピーマン】（主な産地：茨城、高知、宮崎）

- 入荷量は、茨城県産や宮崎県産において、4月中下旬は、低温や日照不足の影響がから前年を下回った。茨城県産は、5月中旬及び6月中旬は天候の回復等で前年を上回ったものの、その他の旬は、前年並みか前年を下回って推移した。
- 価格は、5月以降は下げ基調で推移したものの、全期間を通して前年を上回って推移した。

入荷動向（東京都中央卸売市場）



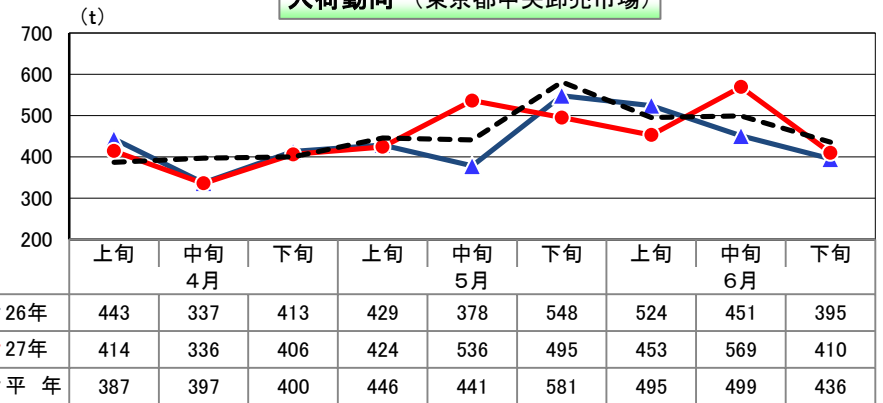
価格動向（東京都中央卸売市場）



【ほうれんそう】（主な産地：群馬、茨城、埼玉）

- 入荷量は、4月は群馬県産や埼玉県産において、昨年の大雪の影響で少なかった前年を上回ったが、茨城県産において、天候不順による生育遅れから前年を下回った。5月は茨城県産、群馬県産とも生育が回復したこともあり、中旬は前年を上回った。6月は群馬県産において、干ばつの影響から少なかったが、茨城県産において、生育順調に加え作付面積の増加もあり、上旬を除いて前年を上回った。
- 価格は、4月中旬にかけて急騰後急落し、その後は生育が回復したこともあり安定した価格となったが、5月中旬及び6月下旬を除いて前年を上回って推移した。

入荷動向（東京都中央卸売市場）



価格動向（東京都中央卸売市場）

